



日本共産党品川区議会議員

菊地貞二

週刊区政ニュース第379号

09年12月20日発行

区民無視の補正予算

「説明できないが承認しろ」



今回の補正で問題となったのは子育て支援についてです。品川区は、待機児解消と言いながら保

大勢をしめても「反対」するという立場になります。

予算はひとつの施策に賛成か、反対かを取るのではなく、全体を一括して賛否を問います。

そのために、重大な問題点をかかえ、区民生活に悪い影響をもたらす内容であれば賛成する部分が大勢をしめても「反対」するという立場になります。

元保育士の飯沼雅子区議会議員が反対討論 待機児解消の緊急施策といいながら保幼小連携施策にすりかえ

日本共産党は、第四回定例議会に提出された、「平成21年度品川区一般会計補正予算」に反対の意思を表明しました。補正予算には必要なものも含まれていますが、看過できない大きな問題がありました。



幼小連携の推進と称して5歳児を学校施設で保育すると言う異質な提案にすり替

膨大な疑問点を残しながら・

1点目は、進め方の問題です。保幼小交流事業を更に推進し、5歳児が小学校に順応するため、近接した保育園と小学校が積極的に

教育的交流を行う先進的なモデルケースとして実施するとの説明。しかし今回補正

いつなのか？

④ 保護者や子どもが望まない保育内容であれば拒否できるのか？

白紙委任で予算を

認めてほしいと言うやり方は、認めることはできません。

2点目は、子どもたちにとって保育の質が守られるのかも不明です。

⑤ 5歳児の生活の場は保育園、学校どちらなのか？



⑥ 日中の生活はどうなるのか？

⑦ 早朝夜間保育はどうなるのか？

⑧ 保育園と学校を行ったり来たりするのか。

⑨ 子どもたちの発達

は保障されるのか？

⑩ 5歳児を学校の環境で育てることをどこで検討してきたのか？

⑪ 専門家の検討もないモデルケースはなぜ成立するのか？

⑫ 自ら立ち上げた組織である「保幼小連携

推進に関する検討委

員会」での説明も検討もないのはなぜなのか？

5歳児は飛躍的に

成長する時期と言われ、特に小さい子との交流は、喜びが広がりに思いやりの心も

育つとされています。

今回の提案は保育園から切り離し、異年齢児との日々の交流

を壊すことです。

3点目は、本格的な待機児解消に取り組まない点です。

⑬ 5歳児50人を移動させた空きスペースで待機児がどれだけ解消するのか？

⑭ 保育需要に合わせて認可保育園をつくってこなかった区政の誤りではないのか？

父母の願いは認可保育園増設

今回の品川区の提案は「保幼小連携」先

にありきで子どもの

意見をとりいれよう

としない強引なやり

方です。しかも区民

に説明する資料さえ

持ち合わせていない

という粗末なもので

あり、認めるわけに

はいきません。



無料法律相談会 (生活相談は随時)

ところ すずらん通り事務所

日時 1月29日 (金)

午後6時～8時



前日まで15742-6818までお電話を下さい。